

会員各位

一般社団法人 日本精神科看護協会  
会 長 末 安 民 生

## 日本精神科看護協会 Web サーバーへの不正アクセス発生についてのご報告とお詫び

このたび、当協会のサイト「<http://www.jpna.jp/>」において、不正アクセスがあり、その内容を調査いたしましたところ、会員の個人情報、流出した可能性があることを確認いたしました。会員の皆様および関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけ致しましたこと深くお詫び申し上げます。当協会では、今回の事態を厳粛に受け止め、会員の皆様および関係各位の信頼回復に向け、全力で取り組む所存です。

会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、現在はクレジットカード会社による監視システムにて不正利用の防止のための管理をお願いしておりますが、万が一、カード会社からのご利用明細書に不審な取引があった場合、大変お手数をおかけしますが、カード裏面に記載がありますクレジットカード会社の連絡先に、お問い合わせをお願い申し上げます。

なお、以下に該当される会員様にて、クレジットカード番号の変更をご希望の場合は、カードの再発行手数料のご負担を会員様におかけしないよう、当協会よりクレジットカード会社に依頼しております。その他、このたびの不正アクセスによる会員様情報流出の概要と対応につきましては、下記の通りご報告させていただきます。

### 記

#### 1. 流出した可能性のある期間

平成 27 年(2015 年)5 月 11 日から平成 28 年(2016 年)6 月 21 日

上記期間内に当協会 Web 入会申込でクレジット決済をご利用された方が対象でございます。

#### 2. 流出した可能性のあるデータ

流出の可能性のある個人情報データは763件

上記のうち流出した可能性のあるクレジットカード情報は最大763件となります。流出した個人情報については以下の通りでございます。

- ① クレジットカード名義人名
- ② クレジットカード番号
- ③ クレジットカード有効期間
- ④ 住所
- ⑤ Eメールアドレス
- ⑥ 電話番号

今回の情報流出に関して、流出懸念のある会員の皆さまには、別途書面をお送りしてございます。

### 3. 原因

調査会社の調査により、平成27年5月11日以降に、外部からのWebアプリケーションの脆弱性を利用した攻撃により、クレジットカードのデータ等が抜き取られた可能性があることが判明いたしました。

### 4. 対策

平成28年6月21日にカード会社から決済代行会社を通じて、当協会Web入会申込で情報漏えいの懸念がある旨連絡を受け、被害拡大防止のため直ちにWeb入会申込をクローズして、カード決済のご利用を停止いたしました。また、クレジットカード会社には、該当する会員情報を報告し、それ以降の不正利用の防止モニタリングのお願いをしております。

また、所轄警察への相談も行っており、被害届も提出する予定であり、経済産業省商取引監督課に報告(9月29日)も完了しています。今後につきましては、調査会社より指摘されたシステムの脆弱性および管理体制の不備な点につきまして、実施可能な施策を行なうとともに、PCIDSS準拠のカード情報非保持のシステムに変更を検討しております。

### 5. 公表が遅れた経緯について

今回の案内に至るまで、時間を要しましたことを深くお詫び申し上げます。本来であれば疑いがある時点で、注意を喚起するとともにお詫び申し上げるところではございましたが、決済代行会社と協議し、不確定な情報の公開はいたずらに混乱を招き、皆様へのご迷惑を最小限に食い止める対応準備を整えてからの告知が不可欠であるとの説明を受け、発表は調査会社の調査結果、およびカード会社との連携を待ってから行うことにいたしました。今回の発表までお時間をいただきましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本精神科看護協会 担当：早川(はやかわ)・山西(やまにし)

お電話でのお問い合わせ：0120-750656(フリーダイヤル)

お電話受付時間：土日祝休 8:30~17:00

専用メールアドレス:jpnapass@jpna.or.jp